

清瀬市商工振興計画（案）の策定に関する パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメント実施概要

清瀬市は、平成15年に「清瀬市商店街振興プラン」を策定し、清瀬市内商店街の振興を目的に、様々な施策を行ってきました。

その後、計画策定から約15年が経過し、これまでの様々な社会情勢の変化を踏まえ、今後7年間の清瀬市の商工業の振興の目標を明らかにし、これまでの商店街振興の枠に限定せず、清瀬市全体を対象とした商工業全般に係る振興計画を策定することとなりました。

この計画（案）を公表し、市民の皆様にご意見の募集を行ったところ、下記の通りご意見を頂きましたので、ここに本市の考え方を公表いたします。

2. パブリックコメント結果概要

- (1) 意見提出数 5人
 - (2) 意見の件数 18件
- ※詳細は下記のとおり

3. パブリックコメントと回答の内容

- (1) 人口減少に伴う労働力不足は深刻だと思います。早急に対策を
→労働力不足については、施策4「地域との連携」(1)で進めてまいります。
- (2) 池袋や新宿といった都心から近いというメリットをもっと強く出すべきだと思います。個人であれば、来やすいとか住やすい街とか、会社・企業であれば、都心から近く、そして低価格の家賃で住める街とか。
→都心に限らず、近隣のビジネスチャンスをつかえる必要性があるため、施策2「市内中小企業の振興」(2)で進めてまいります。
- (3) ショッピングモールとか大企業を誘致した方がいいと思います。
→ショッピングモール等の誘致については、移転先となる広大な用地の確保が必要となる上に、用途地域内の建築物の制限があります。また、今回の清瀬市商工振興計画では、関係部署とも連携を図って策定作業を行っており、現状の用途地域の範囲内の商工振興の方向性を定めたものとしてご理解頂ければと思います。
- (4) <市民が望む商店街> アンケート結果から、市民は気軽に休む場所や休憩施設があり、花や植栽のある緑豊かな商店街を望んでいることがわかります(Q19、Q20)。しかし現実には歩道が狭く段差もあり歩行が困難なことに加え、歩道や道路にある電柱がさらに歩行困難に拍車をかけている様子が見られる。

かがえます (Q21)。市民の望む商店街として「用事がなくても過ごせる場所」、「カフェ・喫茶店」、「気軽に集い交流できるフリースペース」、「市民参加型のリサイクルショップ」などがある商店街との答えが返ってきました (Q15、Q19、Q20) 魅力的な商店街づくりは、単に必要な物を効率よく買うだけの場所づくりだけでなく、買物を楽しむ時間と空間、そして人との交流が図れる場所づくり・まちづくりなのではないでしょうか。

<提案>

道路の拡張、電柱の地中化、駐輪場の確保等は是非取り組んでほしいところですが、すぐにできるものではありません。しかし、街を美しく気持ちよい空間にし、市民の多くが集える商店街づくりならできそうです。

(1) P40 に「空き店舗情報」の効果的な発信とありますが、商工会の HP をみると不動産屋の賃貸物件案内と変わりません。P41 に示す空き店舗を対象としたチャレンジショップ事業を具体化されてはいかがでしょうか。男女共同参画センターで年 1 回女性起業フェスタを開催していますが、店を持つての起業とまでいかななくても月に数回店先を借りて手作り品を売って活動資金にしている市民団体は結構います。「空き店舗」を「シェア店舗」として複数で利用するのであればこのような方々も利用しやすいはずで。また商店街に人集まる仕掛けとして、市民が集えるような活動(子育て親子サロン、高齢者向けサロンやカフェ、あるいは子ども食堂等)をしている NPO や市民団体へ、「空き店舗」を無料あるいは低額な料金で貸し出すことはいかがでしょうか。この場合、謝礼として商店の案内チラシを置いてもらう、店の前に花壇やベンチを置く、商店街の道路の掃除をしてもらう等の条件をつけるのです。そしてこのような仲介を商工会や市役所・社協が率先して行うのです。

→(1) のチャレンジショップ事業については、施策 2「市内中小企業の振興」の(3) に明記をしております。

(2) P10 で清瀬市の事業所で医療・福祉の割合の増加が示されています。特に人が多く集まる駅周辺の商店街にはクリニックがどんどん建っており、商店街を行き来する方々の中には具合が悪くクリニックに向かう人々もいるはずで。しかし、駅周辺の特定分煙許可地区でもタバコのおいが漂い、風向きによってはバスを待つ大勢の人々のところまで臭いが襲ってきます。禁煙エリアや歩行喫煙禁止の周知が十分でなく、喫煙している人がいるからなのですが、店の入口に灰皿を置いている店がまだ結構あることも理由でしょう。タバコ屋さんであればしかたないかもしれませんが、禁煙エリアにもかかわらず清瀬駅南口のタバコ店前は灰皿を囲んで多くの方が喫煙しています。先に挙げたように市民はきれいな気持ちの良い商店街を望んでいます。

このような商店街を市民はぶらぶら散策したいと思うでしょうか。ゆっくり買い物したいと思うでしょうか。特定分煙強化地区は言うに及びませんが、人通りの多い所や学校の通学路になっているタバコ店（七小近く）では灰皿の設置を自粛していただきたいと思います。

→（２）のご提案については、清瀬市商工振興計画策定の趣旨に直接関係するものではないと判断します。

（５）各地域でふるさと納税が盛んであるが、清瀬でももっと力を入れるべきで、清瀬独自のオリジナル商品開発などに対する支援を積極的支援をした方がよいと思うがいかがか。

→清瀬独自のオリジナル商品開発などに対する支援に関する内容は、施策２「市内中小企業の振興」（１）に明記しております。

（６）農業と福祉連携で障がい者等の農業分野で活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、その産物を６次化して商品化してはいかがか。

→新商品開発に対する支援に関する内容は、施策２「市内中小企業の振興」（１）に明記しております。

（７）地元野菜を食べれる店を増やすと活性化につながると思うがいかがか。（ポスター等でPR）

→地元野菜を食べられる店については、施策３「魅力ある個店等の支援」（１）で施策展開してまいります。

（８）商店街に空き店舗を目にするが、新たに開業する人に対する支援をしてはいかがか（空店舗婚活支援（案））

→平成31年度より創業者向けの制度融資を創設するほか、商店街に加入する創業者への支援を行います。

（９）少子高齢化社会に対する事も検討に入れて考えてはいかがか。

→第１章の１．の中で、少子高齢化社会に限らず、時代状況の変化に対応した商工振興計画の策定を行う旨明記しています。

（１０）地域経済の活性化には、農商工業の振興が必要です。清瀬市は農業が盛んでありその特色を活かし商工会と市民、農家など連携し、特産品等の開発など、取り組みはいかがか。

→特産品に限らず新製品開発として、施策２「市内中小企業の振興」（１）に明記しております。

（１１）観光を通じた商工業振興とあるが、東京オリンピックが大きな経済効果をもたらす等、特需の期待もあるがオリンピックまでの観光振興を踏まえての商工施策とオリンピック後の商工施策を示した方がより効果的と思うがいかがか。

→東京2020大会に限らず、増加する海外旅行客に関する施策を、施策５

「観光を通じた商工業振興」(3)に明記しております。

(12)市の商工業の振興に対して、大きな役割を担っている商工会についての役割が少ないような気がします。

→3.計画に係る関係機関の「清瀬商工会」の文言を修正いたします。

(13)後継者不足は、どの業種においても問題であるが、後継者育成(婚活支援)や事業継承に対する支援をもっと強調すべきだと思います。

→施策2「市内中小企業の振興」(4)で進めてまいります。

(14)ひまわりフェスティバルは多くの人が市外から訪れているようですが、観光にもっと力を入れて商店街や飲食店などで多くの人があれば賑わいが発生し、活性化が図れると思います。

→施策5「観光を通じた商工業振興」で進めてまいります。

(15)商店街の買い物代行など、「21世紀型御用聞き」の支援など商店での取り組みをしてみたいかがか。

→買い物代行については、自発的かつ魅力的な事業者等の参画が欠かせないことから、施策3「魅力ある個店等の支援」で施策展開してまいります。

(16)清瀬市民も全国と同じように高齢化していくので、買い物しやすいお店がなくならないようにしてほしい。

→第1章の1.の中で、少子高齢化社会に限らず、時代状況の変化に対応した施策の展開を行ってまいります。

(17)市内の会社とか新しいお店の情報が少なすぎるので、もっと発信すべきだと思います。

→施策3「魅力ある個店等の支援」で進めてまいります。

(18)市内飲食店を利用することがあるが、個性的な飲食店をもっと増えるよう支援すべき。

→施策3「魅力ある個店等の支援」で進めてまいります。

以上